

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月23日

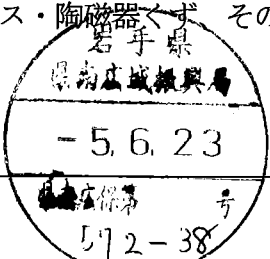
岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県胆沢郡金ケ崎町永沢橋本後4番地  
氏 名 菊地建設株式会社  
代表取締役 菊地正美  
電話番号 0197-44-2829

循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	菊地建設株式会社		
事業場の所在地	岩手県胆沢郡金ケ崎町永沢橋本後4番地		
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	総合工事業		
②事業の規模	元請完成工事高（令和4年度）	174,647千円	
③従業員数	16名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(がれき類、廃プラ、木くず、ガラス・陶磁器くず、その他がれき類) 排出→産業廃棄物処理業者へ委託		



(A4)

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役（廃棄物管理責任者）

専務取締役（廃棄物担当者）

各現場担当者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

## 【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ
排 出 量	751.58 t	3.815 t
産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・陶磁器くず
排 出 量	115.245 t	4.60 t
産業廃棄物の種類	その他がれき類	
排 出 量	20.38 t	

（これまでに実施した取組）  
 廃棄物の発生抑制、分別の促進に努めてきた。

②計画

## 【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ
排 出 量	350 t	3 t
産業廃棄物の種類	木くず	ガラス・陶磁器くず
排 出 量	30 t	4 t
産業廃棄物の種類	その他がれき類	
排 出 量	20 t	

（今後実施する予定の取組）  
 今後も上記取り組みを継続する。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

各現場で産業廃棄物種類ごとに分別し、適正に委託している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

今後も上記取り組みを継続する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】（別紙のとおり）		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)  全ての産業廃棄物について処理委託している。		

②計画	【目標】(別紙のとおり)		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  適切に分別収集を行い、全ての産業廃棄物について処理を委託する。		
※事務処理欄			

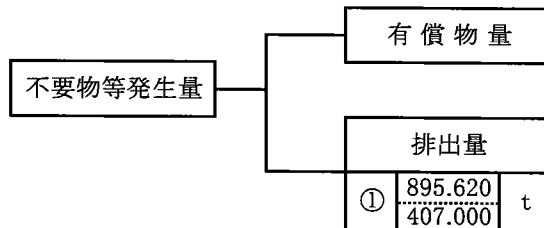
備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 全体 )

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値



項目	前年度実績値	今年度実績値	
① 排出量	895.620	407.000	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	895.620	407.000	t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	886.905	400.000	t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	0	0	t

自ら直接再生利用した量		
②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
③	0	t
	0	

自ら中間処理した量		
④	0	t
	0	

④のうち熱回収を行った量		
⑤	0	t
	0	

自ら中間処理した後の残さ量		
⑥	0	t
	0	

自ら中間処理により減量した量		
⑦	0	t
	0	

自ら中間処理した後再生利用した量		
⑧	0	t
	0	

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		
⑨	0	t
	0	

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
⑩	895.620	t
	407.000	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
⑪	0	t
	0	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量		
⑫	886.905	t
	400.000	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		
⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託		
⑭	0	t
	0	

(第2面)

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： がれき類 )

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

不要物等発生量	有償物量	
	排出量	
①	751.580	t
	350.000	t

項目	前年度実績値	今年度実績値	
① 排出量	751.580	350.000	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	751.580	350.000	t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	751.580	350.000	t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	0	0	t

自ら直接再生利用した量	
②	0
	0
	t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
③	0
	0
	t

自ら中間処理した量	
④	0
	0
	t

④のうち熱回収を行った量	
⑤	0
	0
	t

自ら中間処理した後の残さ量	
⑥	0
	0
	t

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0
	0
	t

自ら中間処理した後再生利用した量	
⑧	0
	0
	t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑨	0
	0
	t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
⑩	751.580
	350.000
	t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	0
	0
	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	751.580
	350.000
	t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0
	0
	t

⑩のうち熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	
⑭	0
	0
	t



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 廃プラ )

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

不要物等発生量	有償物量		
	排出量		
①	3.815	t	
	3.000	t	

項目	前年度実績値	今年度実績値	
① 排出量	3.815	3.000	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	3.815	3.000	t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	0	t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	0	0	t

自ら直接再生利用した量		
②	0	t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
③	0	t
自ら中間処理した量		
④	0	t
④のうち熱回収を行った量		
⑤	0	t

自ら中間処理した後の残さ量		
⑥	0	t
自ら中間処理により減量した量		
⑦	0	t

自ら中間処理した後再生利用した量		
⑧	0	t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		
⑨	0	t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		
⑩	3.815	3.000
	t	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		
⑪	0	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量		
⑫	0	t

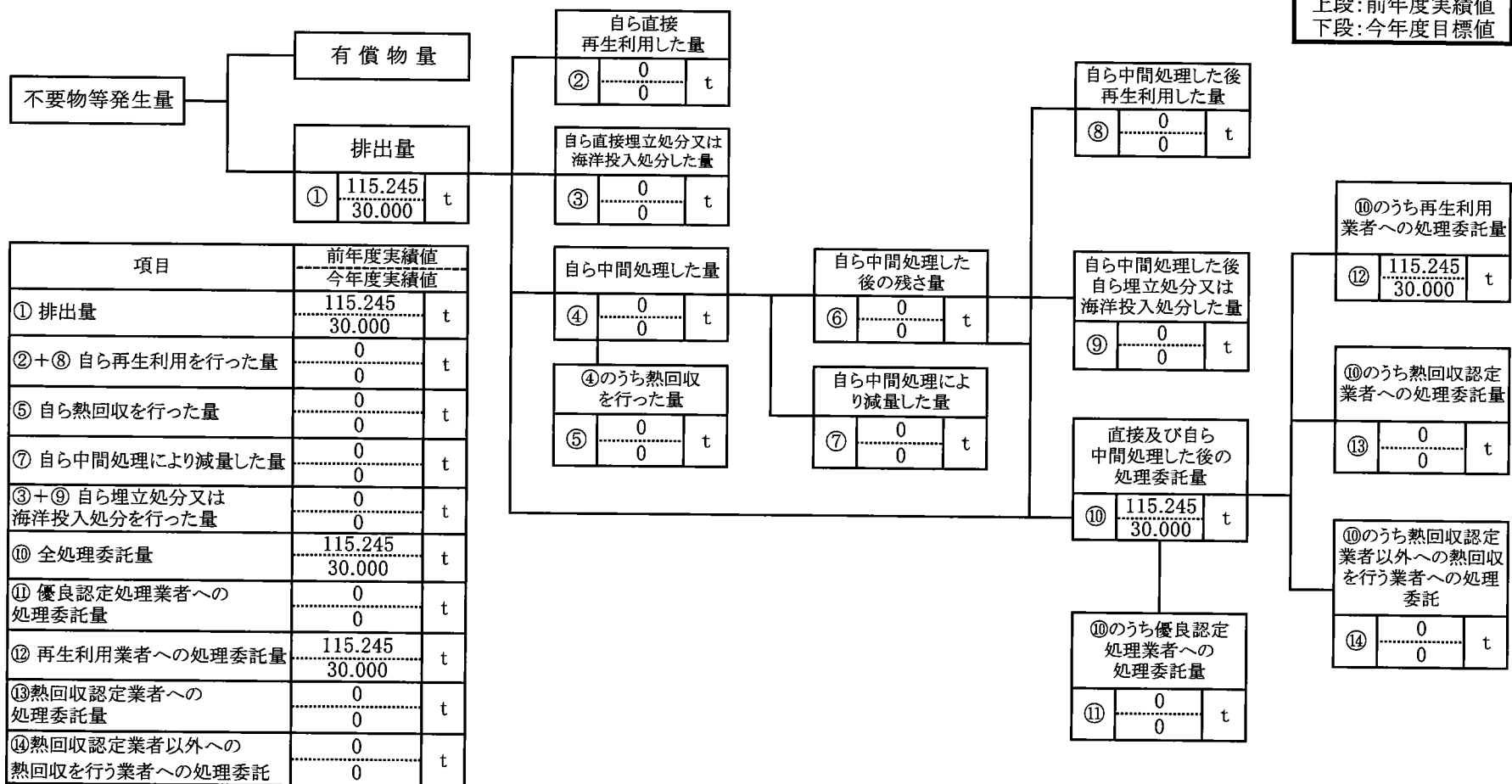
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		
⑬	0	t

⑩のうち熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託		
⑭	0	t

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

(第2面)



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： ガラス・陶磁器くず )

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	4.600	t
	4.000	t

自ら直接 再生利用した量		
②	0	t
	0	t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量		
③	0	t
	0	t

自ら中間処理した後 再生利用した量		
⑧	0	t
	0	t

項目	前年度実績値	今年度実績値	
① 排出量	4.600	4.000	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	4.600	4.000	t
⑪ 優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0	0	t
⑬ 熱回収認定業者への 処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外への 熱回収を行う業者への処理委託	0	0	t

自ら中間処理した量		
④	0	t
	0	t

④のうち熱回収 を行った量		
⑤	0	t
	0	t

自ら中間処理した 後の残さ量		
⑥	0	t
	0	t

自ら中間処理によ り減量した量		
⑦	0	t
	0	t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量		
⑨	0	t
	0	t

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量		
⑩	4.600	t
	4.000	t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量		
⑪	0	t
	0	t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量		
⑫	0	t
	0	t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量		
⑬	0	t
	0	t

⑩のうち熱回収認定 業者以外への熱回収 を行う業者への処理 委託		
⑭	0	t
	0	t

(第2面)

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類： その他がれき類 )

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

不要物等発生量	有償物量	
	排出量	
①	20.380	t
	20.000	t

項目	前年度実績値	今年度実績値	
① 排出量	20.380	20.000	t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0	0	t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0	0	t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0	0	t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	t
⑩ 全処理委託量	20.380	20.000	t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	20.080	20.000	t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0	0	t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	0	0	t

自ら直接再生利用した量	
②	0
	0
	t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
③	0
	0
	t

自ら中間処理した量	
④	0
	0
	t

④のうち熱回収を行った量	
⑤	0
	0
	t

自ら中間処理した後の残存量	
⑥	0
	0
	t

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0
	0
	t

自ら中間処理した後再生利用した量	
⑧	0
	0
	t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑨	0
	0
	t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	
⑩	20.380
	20.000
	t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	0
	0
	t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	20.080
	20.000
	t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0
	0
	t

⑩のうち熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託	
⑭	0
	0
	t

(第2面)